

## 1.概要

本ソフト“NInputKey”は、PC に常駐させることで、弊社 NFCリーダライタの暗号または SSFC<sup>※1</sup>対応版を制御してカードデータを読み出し、あたかもキーボードから入力したようにみせかけて表示するソフトです。

本ソフトは起動後にタスクトレイに常駐してリーダライタと通信を行い、カードを検出して FeliCa<sup>※2</sup> の IDm または MIFARE<sup>※3</sup> / ISO15693 の UID をアクティブウィンドウ (前面に表示されているウィンドウ) のキャレット (キーボードカーソル) 位置に出力します。

対象リーダライタ: NR01U-1, NR01U-2, TM12-U-2, XR05U-TI-2

NR01U-\*は“USB Direct”で使用してください。

TM12-U-2, XR05U-TI-2 (以下 TM12 と記す) を使用する場合は、仮想 COM で使用して下さい。

なお、NR01U-\*では ISO15693 に非対応です。

### 【注意】

本ソフトは、キーボードデータとして不適切なコードが出力された場合、PC がハングアップするなどの可能性がありますので、事前に確認したうえでご使用ください。



※1 SSFC Shared Security Formats Cooperation の略です。

※2 FeliCa はソニー株式会社が開発した非接触 IC カードの技術方式です。  
FeliCa はソニー株式会社の登録商標です。

※3 MIFARE は NXP セミコンダクターの登録商標です。

## 1-1.インストール

本ソフトの動作環境は、次の通りです。

パソコン:PC/AT 互換機

OS :Windows2000 以降の各 Windows 日本語版

NR01U-1,2 を使用する場合、本ソフトをインストールする前に FTDI 社の USB ドライバをインストールしておく必要が有ります。USB ドライバのインストール方法及び修正手順については、本ソフトと一緒に提供される“WinXP\_FTDI インストールガイド JP.pdf” (Windows 2000,XP 用)、または、“WinVista\_FTDI インストールガイド JP.pdf” (Windows Vista 用)、または、“Win7\_FTDI インストールガイド JP.pdf” (Windows 7 用)を参照してください。インストールガイドは、CD 内の“FTDI”フォルダに格納されています。

TM12 を使用する場合、本ソフトをインストールする前に USB ドライバをインストールしておく必要があります。USB ドライバ及びインストールガイドは、CD 内の“USBIF ドライバ”フォルダに格納されています。

本ソフトのインストールは、CD 内にある次のフォルダ内にある全ファイルを任意のフォルダにコピーすれば完了です。

フォルダ

NInputKey

FeliCa の IDm 及び MIFARE の UID 読み出し用ソフト

NInputKey-ISO15693

ISO15693 の UID 読み出し用ソフト

## 1-2.アンインストール

本ソフトをアンインストールする場合は、1-1 でコピーしたファイルを削除してください。なお、レジストリは使用しておりません。

## 2.使用方法

ソフト NInputKey を起動するとタスクトレイに常駐します。USB ケーブルでリーダライタを PC に接続すると、検出してアイコンが変わります。

リーダライタからデータを出力すると、本ソフトはアクティブウィンドウ (Excel, ブラウザなど) に対して、キーボードデータに変換して出力します。データは、アクティブウィンドウのキャレット (キーボードカーソル) 位置に表示されます。

### 【注意】

本ソフトはキーボードの動作をエミュレートしますので、表示はキーボードの状態に依存します。従って、IME の 日本語入力を OFF (英数入力状態) にして使用してください。

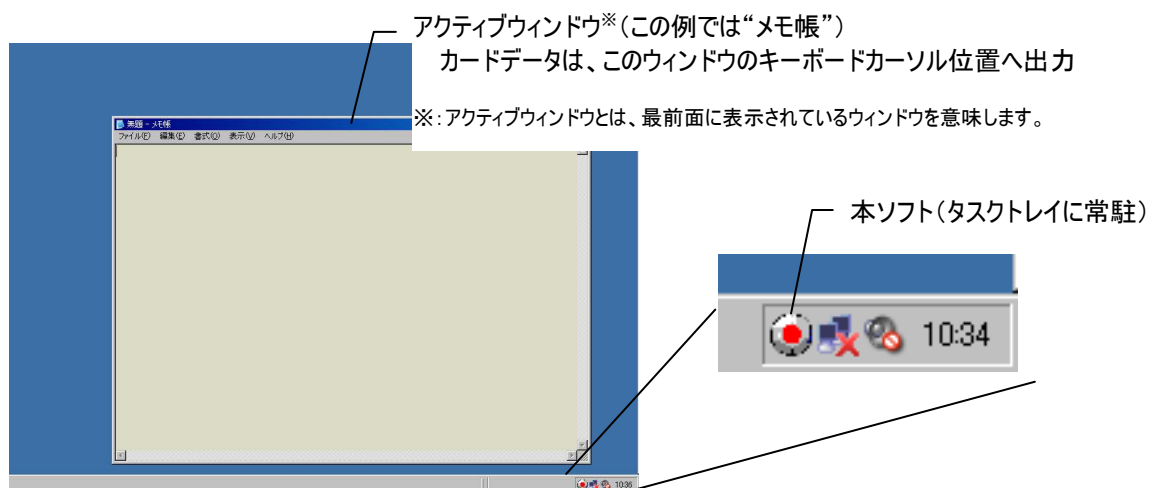
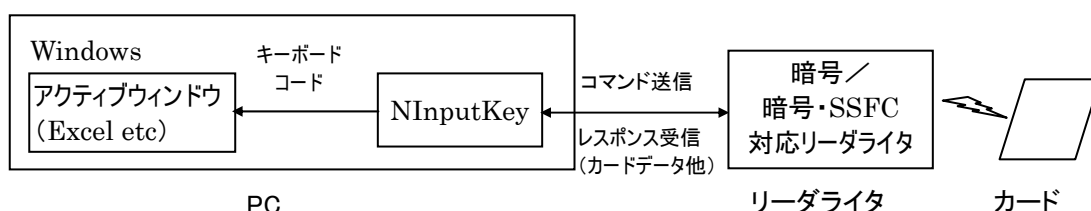


図 ソフトの実行状態例

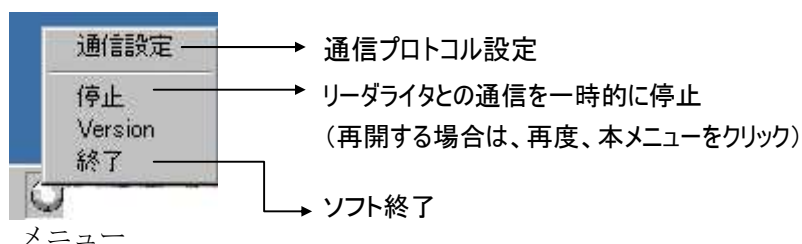
常駐すると次のいずれかのアイコンが表示されます。

### アイコン

|   | アイコン | 意味                                    |
|---|------|---------------------------------------|
| 1 |      | リーダライタとの通信が行われていない状態でリーダライタ接続 & 認証待ち中 |
| 2 |      | リーダライタと認証が完了している状態でカード読み取り中           |
| 3 |      | リーダライタの検出及びカード読み取りを停止中                |

ソフトを終了する場合は、アイコンを左クリックして表示されるメニューの“終了”を選択します。

## 2-1. 機能説明



### 機能説明

|   | 項目              | 意味   |
|---|-----------------|--|
| 1 | カード検出時のピープ音     | カード読み取り完了時に、PC のピープ音を鳴動<br>(音量がミュート※になっている場合は、設定は無効です)   |
| 2 | MIFARE UID 表示   | MIFARE カードの UID の表示順番<br>・UID[0]...[n]   |
| 3 | ISO15693 UID 表示 | ISO15693 カードの UID の表示順番<br>・UID[0]...[7]   |
| 4 | キーボード出力         | 対象とするカードの IDm/UID に改行 (ENTER キー) を付加<br>・FeliCa IDm を 16 桁 (文字コード 0~9,A~F) で出力<br>・MIFARE UID を 8 桁または 14 桁 (文字コード 0~9,A~F) で出力<br>(MIFARE の UID はカード種類によって桁数が異なります)<br>・ISO15963 UID を 16 桁 (文字コード 0~9,A~F) で出力 |
| 4 | 同一カード           | 同一カードは、一旦カードをリーダライタから離してからでないと出力しない  |

### ※音量のミュートについて



ミュート状態  
この状態では、ピープ音の  
設定は無効です



音が出る状態

PC のタスクトレイにアイコンが表示されている場合

## 2-2. カードデータ出力

Excel を起動してキーボードカーソルがセル中にある場合に、リーダライタにカードをかざした時の表示例です。なお、出力文字が数字の場合は、Excel の標準設定では先頭の 0 が無視されますが、セルの表示形式を“文字列”にして使用すれば回避できます。

### 出力例

|   | A                | B |
|---|------------------|---|
| 1 | 0101060167099C02 |   |
| 2 | 01160100DB068406 |   |
| 3 | 01160400D40E960C |   |
| 4 |                  |   |
| 5 |                  |   |
| 6 |                  |   |
| 7 |                  |   |
| 8 |                  |   |

## 2-2. 通信設定

### 1)通信プロトコル

リーダライタとの接続方法を設定します。

|   | 項目        | 意味                            |
|---|-----------|-------------------------------|
| 1 | COM ポート指定 | COM(仮想 COM を含む)ポートで接続する場合に選択  |
| 2 | USBDirect | ダイレクトモードで接続する場合に選択            |
| 3 | COM Port  | COM ポートで接続する場合にポート番号を指定       |
| 4 | 通信速度      | リーダライタとの通信速度<br>通常は 115200bps |

### 2)認証鍵

設定変更できません。

### 3)認証方法

設定変更できません。

### 4)通信形態

設定変更できません。